

## 意見一覧

意見	回答
<p>1.チラシについて</p> <p>グラフの年度を統一したほうが良いと思います。</p> <p>2.配布先について（来年度以降でご検討ください）</p> <p>自家用車等の通学が禁止されている高校生は、親等の送迎がない限り、通学には公共交通機関利用が不可欠ではないかと思ひます。その高校生を対象に通学時の公共交通利用促進チラシは、どれくらい効果があるのでしょうか。</p> <p>高校生が大学進学や就職した場合に、公共交通の利用につながるような内容がいいのではないのでしょうか。コトデンは、放課後や休日に、高校生等に映画やレジャーのための割引切符等で公共交通の利用促進を行っていました。</p> <p>また、通学時の利用促進の内容にするのであれば、大学誘致によるまちなかの賑わいを促進する和歌山市の都市再生計画と合わせて考えることが大切と思ひます。和歌山大学や県医大も含めて大学生に利用してもらって、和歌山城周辺の賑わいを促進したほうが良いと思ひます。なかなか協議会では議論ができませんが、都市の目的やまちづくり計画を合わせた利用客のターゲットを明確にすることを希望します。賑わいできれば社会人も集まり、公共交通の利用が増えるのではないのでしょうか。</p>	<p>1.チラシについて</p> <p>グラフの横軸の表記を統一いたしました。</p> <p>2.配布先について</p> <p>高校生については、通学区域がなく、近隣以外の地域への通学も増えてきています。本事業は、まだ交通行動習慣が形成されていない新入生を対象にモビリティ・マネジメントの一環として、チラシを通じて、高校生に様々な交通手段の存在や利用方法を知ってもらうことや公共交通の利用が持続可能な社会形成に資するという重要性を伝え、定期的な利用に繋げていくことを目的とした利用促進事業です。配布対象には、誘致した大学も含まれますが、委員ご指摘のとおり、賑わいの促進やまちづくりと関連した利用促進策も重要であり、誰をターゲットにするのか、有効と考えられる手法などについて、今後検討・議論したいと思ひます。</p>
<p>通学手段に迷われている方にはとても有効的な手段でわかりやすい案内だと思います。</p>	<p>通学のための情報の一覧性を確保しつつ、わかりやすい表現等を今後も検討してまいります。</p>
<p>配布先が高校となっておりますが、中高一貫の学校では、中学生も対象となると判断してよろしいのでしょうか。</p>	<p>原則として、高校に入学する新入生を主な配布対象としていますが、中高一貫校については内部進学者や新しく入学する中学生をどうするのかを学校側と協議し、必要に応じて配布しております。</p>
<p>作成は賛成です。</p> <p>内容については、情報量が多すぎて高校生に乗ってもらいたいではなく、知ってもらいたい、チラシになっているように思ひます。あれこれ知ってもらいたいなら、この内容で同意しますが、非常に文字が多くたぶん読まないのて効果なし、だと思ひます。</p> <p>バス電車の利用促進であれば、高校生や大学生受けするような内容に特化してPRすればいかがでしょうか。</p> <p>（例えば、バスの中での出会い、恋愛とか。乗ればいいことがある）</p>	<p>本事業は、まだ交通行動習慣が形成されていない新入生を対象にモビリティ・マネジメントの一環として、チラシを通じて、高校生に様々な交通手段の存在や利用方法を知ってもらうことや公共交通の利用が持続可能な社会形成に資するという重要性を伝え、定期的な利用に繋げていくことを目的とした利用促進事業ですが、高校生にとってわかりやすいか、有効であるかについては一定の課題があると認識しております。</p> <p>より良い利用促進策となるよう、ターゲットや有効と考えられ手法などについて、今後検討・議論したいと思ひます。</p>